



コミュニティ しずおか

2022
7月
No.167



6月上旬の施肥と草取り作業の合間にパチリッ、常葉大学生と小学生親子がお手伝いに来てくれた

地域と美術館をつなぐ活動

草薙ツアーグループ（静岡市）

▼静岡県立美術館は、やぶきた茶の生みの親「杉山彦三郎」が全国から集めた13品種が植栽された茶畑を所有しており、同館のボランティア「草薙ツアーグループ」は、この茶畑を後世につなげようと保護育成や市民参加によるお茶摘み、お茶会等地域と美術館をつなぐ活動を行っている。

▼「私たちの力だけでは続けてこれなかった」と代表の前田さん。16年程前荒れていた茶畑は会員、茶農家さん、地域の皆さん、美術館の協力で見違えるほど美味しいお茶が収穫できるようになった。美術館の展覧会に合わせ、呈茶サービスを企画中である。

◇代表：前田美佐枝さん（問合せ・090-3552-9413）

【情報提供・瀧 昌光】

Topics トピックス

地域訪問記 P02
交流の場をつくって54年目（下田市）
ようこそコミュニティ ... P06
ゆるっと小石川観察と環境美化運動（焼津市）



ミミック
のじりき・りえ



4月に古くなった道路標識21枚を作製し交換。完成した看板を後ろにドローンで記念撮影

交流の場をつくって54年目

下田市

～みんなで支えるコミュニティ～

山里会

伊豆急行線蓮台寺駅から車で5分ほど走り、下大沢地区に入る市道に差し掛かると真っ先に飛び込んできた「ここから美しい邑下大沢」の看板。いくつも設置された看板にクスリッとしながら、車一台が通れるほどの道を奥へと上っていくと、地区の拠点である集荷所に到着。漂うミカンの花の香と遠くにせせらぎの音が聞こえるなか「山里会」の山田さん、土橋さん、渡邊さん、土屋さんの4人が迎えてくれました。

盆踊りと共に山里会誕生

山間部にある下大沢地区は32世帯64人が住み、小中学生は4人と高齢者が中心の地域。昭和44年、初代会長の山田さんが、働き者ばかりで老若男女が楽しむ交流の

場がなかったことから盆踊りを提案。青年たちが中心となり、盆踊りの実施と共に山里会を結成。昭和53年にどんどん焼きを復活。58年には第1回秋祭り、海水浴等地域の活性化に努め、今年で54年目を迎えます。

夏の盆踊りや秋祭りには離れて暮らす人たちが戻って

きます。写真を拝見すると集荷所には人が溢れ、それはにぎやか。締めは、皆で肩を組み「ふるさと」を合唱するそうです。きっと地区から出た人も「ふるさと」を耳にすればふと口ずさんでしまうことでしょう。

生活道路を守るユニークな道路標識

前述したように、地区を通る市道は狭く、カーブが続き無理な運転は危険です。そこで注意を促すため2.1kmに渡り、表裏あわせて50枚のユニークな交通安全の標識を設置。3～4年ごとのリフォームにあわせ、標語を住民から募集すると毎回30～40程の応募があるそうです。

地区に入ってくる人には温かく迎える言葉を…。出ていく人には優しく送る言葉を…。それ以外にも洒落のきいた標語もあり、味のある字体で皆さんの安全を願った心のこもった活動だと思いました。

ホームページで情報発信

当初、山里会は青年団の役割を担っていましたが、高齢化により今では地区の推進母体となって地区全体を引っ張っています。とはいえ会員11人(男性のみ)、平均年齢65歳。この先どれだけ活動を維持していけるのか心配です。会員の山田さんは、下大沢のホームページを開設し、地区を知ってもらおうと情報発信を行っています。土屋さんの撮った写真には、素敵な笑顔がいっぱいです。

自慢のコミュニティ

最後に下大沢の自慢を伺いました。「何かやろうという時にそれぞれの得意なものを出し合える」と山田さん。「きれいな空気と楽しい仲間」と土橋さん。「お互い様の気持ちが強く、近辺でも一番まとまりある集落」と渡



揃いの山里会Tシャツを胸に当ててくれた渡邊会長

邊会長。「お互い協力し合える。美味しいお酒が楽しめる」と土屋さん。皆さんの一番の自慢はどうやら山里会の仲間ようです。

盆踊りから始まった山里会は下大沢の歴史を作ってきました。会としての活動は以前に比べると縮小していますが「ふじのくに美しく品格のある邑」の認定邑として、下大沢がもつ地域資源「地域の宝」を大切に思い、守り、活用し、次世代に継承する活動は続きます。

「楽しくなくちゃ続かないからね！」楽しそうに活動を語る皆さんへのインタビューを終え、鳥の声と爽やかなみかんの花の香るこの邑にまた戻って来たくなりました。

下大沢HP ↓



◇代表：渡邊豊彦さん

(問合せ・090-4865-5049 (山田さん))

【情報提供・山田豊秋】



レポート：市川頼子 編集委員



山里会の提案により住民の手でつくられたヘリポート



コロナ前の秋祭りの1コマ



左から、土屋さん、山田さん、渡邊会長、土橋さん



まちからむらから



伊豆市

棚田の保全と大学と連携した地域の振興

はちくぼ会



5月の田植えには大学生も助っ人に駆けつけた

- ▼平成17年、天城湯ヶ島茅野地区に有志からなる「はちくぼ会」が発足した。集落にある「茅野の棚田」を活用して外から人を呼び込む等、地域活性化に励んでいる団体で、主な活動は、棚田の保全と棚田での稲作、農福連携事業による麦ストローづくり、ジオサイトに指定されている鉢窪山の保全活動である。
- ▼会の活動には、静岡大学理学部と早稲田大学社会科学部のゼミ生が加わり、農作業の他、花木の植栽や樹木の名札付け、獣害柵の設置等を一緒に行っている。現在、静大生は樹木名札にQRコードの添付を検討しており、早大生は観光、獣害、食資源、広報の各班が茅野地区の活性化に向けて研究している。
- ▼黒米・もち米の販売や、まきの販売等の収入と集落協定の補助金で活動を行っているが、補助金に頼らない安定した自己財源の確保が課題でもある。「先輩ぶって若者と一緒に作業するのは嬉しいですよ」と山本代表。今後も地域資源の活用方法を大学生と意見交換しながら地域の振興を担っていく。

◇代表：山本宗男さん(問合せ・090-2268-7989)

【情報提供・伊藤 博】

小山町

食でツナグ、みんなの輪

小山町みんなの食堂

▼「小山町みんなの食堂」は、令和3年1月に小山町でも子ども食堂を開設しようと有志4人で活動を始めた。現在は9人に増え、学校や町社協経由でチラシを配布し、町社協・地元企業、老人会等と連携し、善意で集まった食材を美味しいお弁当にして、子育て世代を中心に、事前申し込みのあった方に無料配布している。活動時期は、子どもが一人になりやすい長期休暇に2~3回の配布を行っている。

▼「何故、保存食ではなくお弁当なのか？」そこには「小山町みんなの食堂」の熱い気持ちがある。家庭内で省かれやすい食事だからこそ、すぐに食べられるお弁当にして配布することに意味があるという。

▼多くの企業や一般ボランティアによって毎回50食~100食程のお弁当を提供ができていてとても感謝している。「ゆくゆくは、みんなの食堂が必要でなくなることが出来たら嬉しい」と高橋代表。「おいしく、楽しい社会貢献活動」の輪を広げ、今後は世代・国籍問わず支援していく予定である。

◇代表：高橋良子オザナさん(問合せ・090-7695-2350)【情報提供・秋田美来】



いろんな方の善意がお弁当に生まれ変わる

裾野市

若手、転入者が自主的に活動

本村下区
地域振興委員会



子ども会のハロウィンに参加した赤T軍団

▼毎年9月、裾野市平松大区にある本村下区(約350世帯)では、神社の祭典日にあわせ、本村下区コミュニティ祭りが開催される。主催は、男性48人、平均年齢45歳からなる「地域振興委員会」。活動の際揃いの赤いTシャツを着ていることから地域の方に「赤T」という愛称で親しまれている。これまで祭祀のみで、住民が参加できる祭りが無いことから独自のお祭りを作りたいと、平成21年に有志13人で発足した。

▼会員の7割は転入者。地域を知るために入会する人も多い。活動は強制せず、参加できる時に参加するスタイルにして負担軽減を図っている。お祭りの他に正月遊びを企画、草刈りや子ども会の支援、平松大区主催の三世代交流会のお手伝いも行っている。

▼今年は中高生6人がお祭りの運営に参画し、模擬店の出店を任せる予定。中高生になっても引き続き地域の大人たちと交流を図ることで、将来、活動の担い手になってくれたらと思っている。今後は、更に中高生を増やし幅広い年代での活動と会員同士で趣味の同好会を作る等、広がりを目指している。

◇代表：萩原克哉さん(問合せ・055-993-6053(萩原建築))【情報提供・志田忠弘】



浜松市

昭和の香りが残る町に活気を!

マルカワの蔵



かわいい訪問者と代表の本島さん

▼天竜区二俣町にある明治期に建てられた元酒屋「マルカワの蔵」では、市内外の様々なジャンルの作家による展示販売や地場製品の販売がされている。平成25年、かつて栄えていた二俣に再び人の流れをつくろうと本島さんご夫婦が「蔵を拠点に人と人がつながり、地域を元気にしよう!」とスタート。また、蔵の別室で連鶴折り紙の教室や語学講座等が開催され、高齢者を中心とする人たちの生きがいや交流の場ともなっている。

▼また、地域に高齢世帯や独居者が増えていることから天竜区内の女性グループのお弁当や総菜を仕入れ、買い求めに来る方たちの様子を見守ったり、時には困りごとの相談に応じ、必要な機関に繋げたりすることもある。

▼最近では近隣の大学や県立天竜高校と連携し、学校帰りに生徒が気軽に立ち寄って、作品を見たり大人と交流したりしている。また、高校で開催される若者会議に招かれる等、これからの時代を担う若者たちとともに活気ある町を目指し奮闘中である。

◇代表:本島真弓さん(問合せ・090-7303-5263)

【情報提供・佐藤勝彦】

湖西市

楽しく交流しながら町を元気に!

NPO法人
新居まちネット

▼NPO法人新居まちネットは、平成22年に新居の歴史や文化を伝え様々な団体と連携してまちを元気にすることを目指し発足した。現在17人、平均年齢62歳の会員が楽しく活動している。

▼元芸妓置屋で歴史文化施設の「小松楼」を拠点に、地域住民と観光客が交流の場を創出する「ふれあいづくり事業」と、地域で活動する住民や団体のネットワークを作るための「ネットワークづくり事業」を2本柱に活動をしている。主な活動は、主催する歴史講座を学んだメンバーで結成した「新居古里ガイドの会」による史跡案内や、地元の商店や文化・歴史等を満喫できる「新居町まち巡りマップ」の作成。市民の作品を展示する「小松楼ギャラリー」を開催している。

▼コロナ禍により、観光客の減少や今までの取組が休止になるなど残念な事もあるが、市内や町内の方々の訪問が増えたという嬉しい事もあった。「訪れた人同士の交流の輪を広げ、町を元気にしていきたい」と飯田代表は語る。

※小松楼は新居関所より徒歩5分。火～日9時～17時開館

◇代表:飯田宣子さん(問合せ・053-594-0540)

【情報提供・菅沼泰久】



小松楼ギャラリーを楽しむ訪問者

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます(アドレス <http://www.sizcom.jp>)



No.	市 町	活 動 名	主 催 者	趣 旨・目 的	情 報 提 供
1	伊東市	伊豆半島ジオパークを地元・伊豆高原から盛り上げていく!	伊豆高原ジオパーク研究会	地域住民のボランティアによる地元に着目したジオ探訪を企画	佐藤みつ子
2	沼津市	ノルディックウォーキングでシニア健康寿命を延ばそう	大平ノルディックウォーキング愛好会	シニア世代の日常の健康生活そして交流の場として体力向上を目指す活動	室伏哲男
3	沼津市	わくわくにぎわいイベント	わくわくにぎわいづくり	希薄になりつつある地域と人とのつながりをつくり地域の活性化につなげたい!	伊藤 恵
4	函南町	手芸しながら地域交流の場	ダイヤランド手芸の会	高齢者率の高い地域で手芸をしながら地域交流の場として活動	虎尾恵美
5	御殿場市	令和4年度の活動計画の討議と会員、山田茂幸氏の書写コラボ展参加	コミカレねっとわーく黄瀬川会	コミカレ修了者の情報交換と地域活動の創出	勝又長生
6	島田市	夢枕に出て安置された不動明王を守り続ける地域住民	島田市伊太東川根上&常盤町不動尊と薬師庵を守る会	地域住民の連携強化に繋がりボランティア精神をはぐくむ	池田 弘
7	袋井市	皆で楽しく色鉛筆で描く絵画	色鉛筆画クラブ「なかよし」	熱中できる新たな趣味となり地域の活性化につながる	峰野 勇
8	磐田市	音楽演奏で地域貢献をする	「シングルリード」	大好きなクラリネット演奏で音楽の素晴らしさと地域貢献をする	安部詠司
9	菊川市	菊川スイーツきくるん	炎衆北斗TRIBE	①菊川市のまちおこし、地域活性化。 ②小中高校生の活躍の場所、歌、踊り、司会、農作物販売(小笠高校)	塩澤恵美
10	森町	手作りの「茅の輪」で「茅の輪くぐり」	飯田八幡神社と飯田東組町内会	「茅の輪」を作り「茅の輪くぐり」を続けることで住民の結束と地域愛を育む	山田勝恵



発足間もない団体を紹介します。



本日の参加者
左から、
筆者、小澤さん、
かりんさん、かえさん、
神島さん、中島代表



桜の木の状態について
解説する代表



散策感覚で
ゴミ拾い

『ゆるっと小石川観察と環境美化運動 ～つながりで災害時でも安心して暮らせる地域に～』

にしゃいづ小石川紡ぎて(焼津市)

JR焼津駅北側に広がる小屋敷・西焼津地区で活動する「にしゃいづ小石川紡ぎて」は、月1回、小石川の観察と美化活動を「ゆるっと」と開催して1年余りになる団体。代表の中島さんはコミュニティカレッジ修了生。5月下旬、取材を兼ねて一緒に美化活動を体験してきました。

活動はゆるっと

当日は雨模様。9時30頃、集合場所の市の環境管理センター広場にそれらしき人が集まってきました。本日のメンバーは、中島さんの娘さんとそのお友達の中学生コンビ、大人5人の計7人。検温や名前記入、作業の準備等、中学生コンビがよく動きお手伝いしていました。

参加者の自己紹介と注意事項を聞き、10時過ぎ気合を入れていざ出発。川沿いを歩きながらゴミを拾い、市の環境活動リーダーでもある代表が桜並木の状態や小石川の環境について解説しながら進みます。知識豊富な代表と会員の神島さんから、気になることはさり気なく教えられ、参加者同士、拾ったゴミや植物について話すので言葉が途切れません。最終地点の高架下に着く頃には、肩の力が抜けて自由に話している自分に気がつきました。

ゴミ拾いは30分程度で終了。その後、草刈りをして11時過ぎに本日の感想を伝え合い解散。拾ったゴミは、出発地点にある資源回収場に捨てられるものは捨て、それ以外は代表が収集日に出すということです。

隣町から参加した小澤さんに感想を聞くと「人と知り合えるきっかけになるし、リフレッシュにもなります」と返ってきました。30分毎に作業内容が変わるので、あっという間の90分間でした。

つながる為のきっかけづくり

地元で生まれ育った中島さんは、防災・森林・環境・

心理支援・ファシリテーションなど様々な学びを積み重ねてきました。その学びから「災害時には地域の普段からの繋がりがとても大事」と知り、美化活動をつながる為のきっかけづくりの場として活用しようと、市民講座等で出会った仲間と令和3年から本格的に始めました。

活動は「押しつけない、無理しない、決めつけない」をモットーとし、「ゆるっと」誰もが参加しやすい「同好会的」スタイル。参加者の意見に耳を傾けます。「ゆるっと」も「同好会的」も参加者から出た言葉です。

地域の方に活動を知ってもらうため、またコミュニケーションツールとして、今年4月から「つむぎてだより」(月1回、約100部)の発行を始め、戸別配布しているとのこと。立ち話ができたり「読んだよ」と直に反応をもらえたりするのが嬉しいそうです。

地域の方がどうしたら参加しやすくなるか、試行錯誤を繰り返しながら活動しています。

活動の先に「小石川のお花見会」

ご近所付き合いの希薄化は時代の流れかもしれませんが、しかし普段からの顔が見える繋がりがあれば、まさかの時にスムーズな助け合いができるのも事実です。今後やってみたいことを伺うと「昔は地域住民でお花見会をしていたんです。いつか参加者と一緒にお花見会をしたい」と中島さん。お花見会は彼女にとって「つながりのある地域の象徴」なのかもしれません。いつかお花見会のご案内が掲載されている「つむぎてだより」がこちらに届く日が楽しみです。

◇代表：中島晶子さん(問合せ・080-3647-7585)

【情報提供・秋田いずみ】



レポート：海野ふさ子 編集委員



令和4年度新規事業

～ SNS を安全便利に使いこなし 活動の魅力を発信してみませんか？



静岡県デジタル戦略局が進める支援事業を活用して、2か年にわたりデジタル技術の習得を支援します。

11月から順次 東・中・西の3か所で開催の予定。

初年度	①基礎講座 ②応用編	スマホトラブル対処方法 役立つアプリの活用方法 等
次年度	専門講座	遠隔地との操作と情報交換 活動情報の魅力発信方法 等

会場：東・中・西の3会場
 対象：地域の活動団体に所属している方
 定員：各20人 1団体最大3人まで参加可能
 ※詳細は後日HP発表します。興味のある方は事務局へお問い合わせ下さい。

コミュニティしずおかの立役者!情報通信員を紹介しま〜す(前編)

この冊子は、委嘱のお願いをした県内各地の情報通信員に地域活動の情報提供していただいております。本年度は26市町30人の皆さんに活躍していただきます。 10月号へ続く



下田市
山田豊秋 さん
 愛すべき下大沢地区の情報発信!アボカド栽培に夢中。



伊東市
佐藤みつ子 さん
 傾聴ボランティア、民生委員として地域にかかわっています。



熱海市
大熊タイ子 さん
 熱海の情報お届けします!



伊豆市
伊藤 博 さん
 沢山の団体から素晴らしい活動の情報をいただいております。



沼津市
室伏哲男 さん
 各地域で活動されている方々の情報をお伝えします。



沼津市
伊藤 恵 さん
 少しでもコミュニティ活動のお役に立てたら良いと思います。



函南町
虎尾恵美 さん
 マジック同好会を楽しんでいます。



小山町
秋田未来 さん
 旬の果物が好きです 小山の不思議な魅力を探っています!



御殿場市
勝又長生 さん
 死ぬ意味と生きる意味(死生学)を学び現在の活動がある。



裾野市
志田忠弘 さん
 毎回掲載を目指します!



富士市
斎藤立巳 さん
 趣味の絵画で余生を送っています。人脈を生かして情報提供。



富士宮市
五十嵐葉子 さん
 食べる事・運動する事・社会参画する事日々努力?しています。



静岡市清水区
前田 嶺 さん
 趣味のボードゲームを楽しんでいます!!



静岡市葵区
瀧 昌光 さん
 「安倍の大滝のように清々しく!」



焼津市
秋田いずみ さん
 ペット防災の活動を始めました。



常務のつ・ぶ・や・き

4月からコミ推協の常務理事に就任した白井満です。よろしくお願いします。

私のコミュニティ活動歴はというと、子どもの成長に合わせた極めて定番なもので、子ども会、スポ少、PTAとそれなりに頑張ったけど、子どもの卒業と同時に私も卒業。

県庁で県民生活室長の時は、見守り合う安全・安心な地域づくりを目指して、消費者教育や防犯まちづくりの活動団体を積極的に支援したものの、人事異動で後任にバトンタッチ。当時、活動に参加してくれた方々が20年近く経っても立派に継続されている姿に、ただただ感謝と尊敬。

結果として私のコミュ活はいつも期限付きで、残念ながらライフワークと呼べるものには、未だ巡り合えていない。

今までは、つつい業務多忙を逃げ言葉にしていたが、しばらくはコミュ活応援団の仕事を通じて、自分に向けたライフワークのネタを探してみたい。

コミン家

のりづき・りえ



地域活動に関心のある方へ!

募集します

※お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ


★出張コミカレ&コミカレ開催します!



コミュニティづくりの大切さ、地域での話し合いの進め方などコミュニティ活動を進める上で必要なスキルや知識を学ぶ講座です。静岡市の会場まで足を運ぶのは大変! そんな皆様に向けて、本年度は伊豆の国市と湖西市で出張コミカレを開催します。

地域で活動されている方や地域活動に関心のある方はぜひ御参加ください。なお、詳細につきましては、随時 HP 等でご案内します。

令和4年度出張コミカレ in 伊豆の国

予定日時	10:00~12:00	13:00~15:00	会場
8月27日(土)	「持続可能な地域づくり」 (一社) SACLABO代表 渡村マイ氏	「地域づくりの土台作りという視点」 裾野市東地区おやじの会 何にもし ない合宿実行委員長 小田圭介氏	大仁くぬぎ会館 ↓申し込みフォーム 
9月3日(土)	10:00~16:00 「コミュニティ実践事例と実施計画書づくり」 NPO サプライズ代表理事 飯倉清太氏		

令和4年度コミュニティカレッジ ※講義内容については後日確定します。

10月15日(土)	開講式、基礎講座、パネルディスカッション	会場 静岡市内
10月29日(土)	基礎講座	
11月中	現地訪問研修(県内で先進的な活動をされている団体を訪問します)	
12月10日(土)	ワークショップ、閉講式	

本年度の編集委員を紹介します

- ・鈴木朝子氏 (当協議会推進専門委員)
- ・大橋弘樹氏 (県広報協会常任理事兼事務局長)
- ・市川頼子氏 (コミカレ修了生・吉田町)
- ・海野ふさ子氏 (コミカレ修了生・静岡市)
- ・中安英実氏 (県地域振興課主任)
- ・白井 満氏 (当協議会常務理事)



静岡県コミュニティづくり推進協議会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 総合社会福祉会館3階
 [TEL] 054-251-3585
 [FAX] 054-250-8681
 [URL] <http://www.sizcom.jp>
 [E-mail] sizucom0829@po.across.or.jp



サマーチャンポ

7億円

1等前後賞合わせて7億円
1等5億円、前後賞各1億円

3千万円

1等3,000万円

当せんのチャンス広がる!

この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

7月5日(火)同時発売

各1枚 300円

2022年市町村振興宝くじ
一般財団法人 全国市町村振興協会

宝くじ公式サイト  <https://www.takarakuji-official.jp/>

PCやスマホでネット購入!

発売期間/7月5日(火)~8月5日(金) 抽せん日/8月17日(水)